



# みどりの風

平成23年12月1日発行

校報481号

[みどりの風24号]

練馬区立関町北小学校

## 三余

校長 大野 泰弘

校庭の木々の葉も一気に色づき、冬の装いを早めているように感じられます。

先日の学習発表会には、早朝より多くのご来賓、保護者、ご家族の皆様方にご来校いただき、子どもたちの音楽や演劇に温かいご声援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

皆様からいただいたご感想には、子どもたちの熱演により、涙を禁じ得ない、深い感動を味わわれた様子がとても伝わってきました。2日目はあいにくの雨でしたが、あたかも天が感動の涙を雨に代えて流しているようにも思われました。6年児童の終わりの言葉「私たち6年生は、最後の学習発表会に、人の心の温かさを伝えようと、マジオリンの劇に取り組みました。私たちは、この劇をとおして、思いやりの心・助け合う心の大切さを改めて学びました。卒業までのあと4ヶ月、仲間を信じて魔女の心に負けずに、学校生活の様々なことに取り組んでいきたいと思います」〔一部抜粋〕には、一つの行事をやり遂げた大きな達成感が感じられ、文字通り、舞台とフロアが一体となり、全員の心が一つになった学習発表会でした。

さて、話題は変わりますが、中国には、「三余」という読書に適する時間をあらわす言葉があるのだそうです。皆さんはいつのことだと思われますか。

本校では、年末年始を含む12月5日〔月〕から来年の1月13日〔金〕までを「読書月間」として、読書をおこして、子どもたちが自らの想像力や感性等の豊かな心を育む機会にしております。

子どもたちは、物語を読んでいるとき、心の中で登場人物と様々な対話をし、また、その情景を想像します。本を読むと、登場人物と一緒に、喜んだり、悲しんだり、いろいろな思いを共有します。困難や試練をどのように乗り越えればよいか、その生き方を学ぶこともできます。そして、その物語の作者ともかかわることができます。読書活動には、単に知識を増やすだけでなく、私たちが生きていくうえで大切にしていかなければならない豊かな心を育むエキスがたくさん詰まっていると言うことができます。

本校には、各学級で子どもたちに読み聞かせをしてくださる「PTA読み聞かせの会」の皆様や蔵書点検・環境整備等をしてくださる「図書ボランティア」の皆様による磐石の組織があり、子どもたちの読書環境を温かく支えてくださっています。

また、読書月間の期間中には、素話を聞いたり、本の探検ラリーをしたり、ブックトークを聞いたりする等、各学年で創意工夫した活動を進めます。本は子どもたちの友達です。これからも子どもたちが心の窓を大きく開き、たくさんの本の世界を訪ね、登場人物との出会いを楽しんでくれることを願っています。

ところで、上記の「三余」とは「冬」「夜」「雨の日」〔雪も含む〕のことを指すということです。

保護者・地域の皆様には、この一年間、本校の子どもたちを、また、教育活動を温かく見守ってください、有難うございました。今後も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

## 12月の行事予定

1日(木)	安全指導日・就学時健診 4時間授業
5日(月)	全校朝会・委員会活動 読書月間始(～1/13)
6日(火)	避難訓練・煙体験(4年)
7日(水)	児童集会 教育会のため4時間授業
8日(木)	歯垢染色テスト(4年) 個人面談①4時間授業(清掃あり)
9日(金)	個人面談②水曜時程5時間授業

12日(月)	全校朝会 研究会のため4時間授業
14日(水)	研究授業(4年4組) 音楽朝会
15日(木)	個人面談③4時間授業(清掃あり) 個人面談④水曜時程5時間授業
16日(金)	社会科見学(3年) 個人面談⑤4時間授業(清掃あり)
19日(月)	全校朝会・クラブ活動
20日(火)	薬物乱用防止教室(6年) 全校朝会・犬掃除
22日(木)	全校朝会・犬掃除
23日(金)	天皇誕生日

冬季休業日：12/26(木)～1/7(土)

# 12月の生活目標 進んで仕事をしよう

## 第二光陽苑との交流会

5年担任 水盛 一樹

5年生は、2学期の総合的な学習の時間に、各クラス2回ずつ、第二光陽苑の高齢者の方との交流会を行いました。事前に職員の方から、高齢者の方々の様子や注意しなければいけないことなどを教えていただいた後、グループごとにどのように交流するか話し合いました。ふだん、高齢者の中に方とほとんど接する機会のない子も多く、戸惑う子もいたようです。

今回交流した高齢者の中には、介護を必要とする方や、表情や言葉で意思を表すのが難しい方もいらっしゃいました。そのような高齢者の方に、一生懸命話しかけたり、説明したり、喜んでもらえるようにと活動を工夫したりする子どもたちの姿を見て、とても感心しました。改めて子どもたちの優しさやすばらしさが感じられました。

子どもたちは、交流後の感想に「お年寄りが楽しんでくれたり、うれしそうしてくれたりして、うれしかったです。」「お年寄りは、どうすれば心を開いてくれるのかということを考えました。」「笑顔で接すれば、笑顔が返ってくるということが分かり、うれしかったです。」などと書いていました。一人一人が真剣に向き合って、相手の心に寄り添い、理解しようという姿勢でいたことが読み取れます。

これから日本は、高齢化社会になっていくだけでなく、国際社会の中でどのように諸外国の方々とつきあっていくかなど、他者とのかかわりのどちらが非常に難しい時代になっていくと予想されます。自分だけのものの見方や価値観だけでは、うまくいかないということもあるでしょう。今回の学習は、これから時代を生きる子どもたちにとって大きな意味をもつよい経験になったことだと思います。



## 学習発表会を通して

6年担任 鈴木 博之

小学校生活最後の学習発表会。6年生は「魔法をすてたマジョリン」の劇に取り組みました。

この劇には、「人の心の温かさ」「助け合うことの大切さ」など、たくさんのメッセージが込められています。それらのメッセージを観ている人に伝えるためには、どうすればいいのかを考えて、何度も練習を重ねました。歌や台詞の言い方はもちろん、立つ位置や動き方などについても、お互いの演技を見合って話し合い、よりよくなるように工夫しました。ある子は、友達の演技を見て「役になりきるとは、こういうことなのだ。」と気付き、自分の演技を見直していました。他にも、練習中は、友達同士で学び合う姿がいろいろなところで見られました。

また、今回の学習発表会では、演奏、幕、大道具、照明なども、全て自分たちで行いました。「それぞれの役割がいろいろな面からマジョリンをよくしていった。」と作文に書いた子がいましたが、まさにその通りだと思います。ステージの上だけでなく、見えないところでも、力を合わせて一つの劇を創り上げることができました。

「友達にアドバイスをしてもらってできるようになった」「努力すれば結果が出る」「全員でやれば乗り越えられる」「みんながいたから学習発表会ができた」等これらは、学習発表会後に書いた作文です。見ている人に伝えたいと思っていた「人の心の温かさ」「助け合うことの大切さ」などは、6年生の心にも、しっかりと伝わっているようでした。卒業まで、残り4か月。この学習発表会を通して学んだことを大切にして、学校生活を送ってほしいと思います。



## 「一人一人の力の結集。みんなで創った！がんばった！学習発表会！！」

行事委員会 長岡 美智子

学習発表会には、大勢の保護者や地域の皆様にご参観いただきまして、ありがとうございました。

子どもたちは、様々な教科・領域の学習活動を通して、意欲的に練習に取り組み、工夫を重ねて発表当日を迎えました。ときどきしながらも「練習のように・・」と念じながら舞台に立ち、力いっぱいの演技や演奏をしました。当日は、一人一人が、もてる力を精一杯發揮し、友達と支え合いながら発表することができました。また、他学年の発表を見合うことでたくさんのことを感じた貴重な学習の場になりました。どの子どもも思いを込めて発表し伝え合い、それを受け止め合って一つになったこの体験は、子どもたちが生きていく上でいつかきっと役に立つと信じています。

今回は、本校の「国語科」の研究もふまえ、言葉などによる表現力の育成もめあてに掲げ、登場人物の気持ちを考えたり、詩の内容に触れたりしながら取り組んできました。それぞれの学年で、言葉のもつ魅力も引き出せたのではないでしょうか。

保護者の皆様には譲り合いながらご鑑賞いただく等のさまざまなご協力をいただき、まさにみんなで創り上げた学習発表会になりました。今後も一層の努力を重ねてまいります。本当にありがとうございました。

